



古本 伸一郎
衆議院議員

自動車総連第45回大会のご盛会、おめでとうございます。

参議院議員選挙で浜口誠さんのご支援、地協議長の皆様を先頭に各県でのご支援に心から感謝申し上げます。

人事の季節は切ない。政権交代から下野し今日に至る一番苦しい時に苦楽を共にした退任役員の皆様と過ごした時間が誇りです。お疲れ様でした。

すでに3年後の儀崎哲史さんの戦いは始まっています。遠く長い道のりですが、自動車総連の皆様を支えていたいただきたいと思います。

私たち議員は公職者であり皆様に支えていただいて議席がある身を忘れてはなりません。支援者にとって議員は、どんな時も笑顔で面白い話をしてくれるとの前提があります。辛くてもお応えする責任があります。

加えてその時に何をしたいか、なぜ政治に参加するのか、物語を示す責任があります。超少子高齢化社会で車を買う人が減っています。遠回りでもそこに手を打てば産業の未来になるとの物語です。物語があれば皆様との関係はより固い絆となります。

今後も、皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



儀崎 哲史
参議院議員

自動車総連第45回大会のご盛会、おめでとうございます。

1年以上に亙る浜口誠さんに対する皆さんの活動に、厚く御礼を申し上げます。新しい議員団の体制で、皆さんの代表としてしっかりと活動して参ります。

議員団の間では、自動車の代表として、民進党としての「方向性」について意見を交わす場があります。全ての世代、人生の全てのステージにおいて本当に幸せを感じることのできる、年を重ねることが楽しくなる社会を作っていくための政治を行わなければならない、と常日頃から話し合っています。

物や便利さを求める社会から、ゆとりと心の豊かさを求める社会への転換こそが、今求められているものだと思います。

私は、職場の皆さんが、楽しさ、豊かさを実感でき、前向きになれる働き方改革を求め、皆さんの思いを国会の中で伝えていきたいと思います。引き続き皆さんの率直な意見を賜りたいと思います。

今後も、自動車総連の皆さんの変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

直嶋正行 前参議院議員退任挨拶

24年間 ご支援ありがとうございました

大会第2日目には、直嶋正行 前参議院議員のこれまでの活動と功績に対し、花束贈呈が行われ、ご自身よりこれまでの活動に対する、感謝の気持ちと、私達への激励の言葉が述べられた。



24年間の功績に対し花束を贈呈

第45回大会のご盛会をお慶び申し上げます。

これまでの24年間の長きにわたりご支援を賜りましたことに改めて感謝と御礼を申し上げます。

今日の政治の役割は、かつて経済が右肩上がりだった時代の「富の配分」とは違い、社会の維持に必要なコストを「国民にどう負担していただくか」が重要になっています。当然それには国民との丁寧な合意形成が不可欠です。

政治家には、安易にポピュリズムに陥ることなく逃げずに説明することが求め

られる一方、皆さんには「今が良ければいい」という先送り政治の付けは、必ず自分に返ってくることを認識して欲しいと思います。かつての利益誘導型バラマキ一辺倒の政治が、今日の1,000兆円を超える国の借金を生み、子育てや介護など切実に困っている人にお金が回せない世の中を作ったのです。

「政治に無関心でも、無関係ではいけない」「まずは自らの生活のために政治に向き合って欲しい」24年の経験とともに、私から皆さんへのお願いです。